

たんぽぽ

来年の春

わたしはここにいない

だから

あなたが教えてくれた道から見える

畑のふちに一列に並ぶ樹に

わたしは頼んでおいた

一年たって

また春の風がそよぎ始めたら

梢のやさしいざわめきといっしょに

わたしの唄声（ハミング）をあなたの耳に届けるようにと

それからまた

道端の眼に沁みる青い草と黄色いたんぽぽにも

よくよく頼んでおいた

四月の太陽が輝いたら

わたしの笑顔を

必ずあなたに思いださせてくれと

りんごの白い花びら わたしの涙

枝垂れ柳はわたしの指先

ひわの唄よ わたしの囁（ささや）き

濃い八重桜はわたしの弾む笑い声

わたしはあなたを忘れない

